

分野別計画

【暮らし】分野 ～安全・安心で快適に暮らせる持続可能な愛媛県～②

政策8 リスクから県民の命を守る安全・安心な生活基盤の充実

大規模地震への備えを含め、平成30年7月豪雨による教訓を踏まえた防災・減災対策は、引き続き、最優先で取り組む必要があり、地域の防災・防犯や交通安全の担い手不足に対応するため、地域が一体となって県民の生命・身体・財産を守るための取組みを継続していくほか、自助・共助の活動を活性化させるとともに、災害に強いまちづくりを進めます。

さらに、平時はもちろん、新興感染症のまん延や自然災害発生時などの有事にも安心して医療を受けることができる体制の整備を図ります。



総合防災訓練



防災士養成講座



ドクターヘリ

政策9 環境を守り自然と共生する社会の実現

地球温暖化防止に向けた脱炭素社会の実現に加え、環境破壊や資源枯渇を防ぐために環境への負荷が少ない循環型社会の構築を進めます。また、安全で安心な生活を守るためには、早期に水質や大気などの環境基準の達成等により生活環境を維持するとともに、県民一人ひとりが環境に配慮した行動に努める必要があることから、環境教育・学習の充実にも取り組みます。

さらに、北の瀬戸内海、西の宇和海、南の四国山地に囲まれ、温暖な気候と変化に富んだ地形に育まれた豊かな自然、多様な生態系を県民の財産として守り続け、緑豊かな農山漁村の多面的機能を保持し、貴重な地域資源として保全していきます。



EVカーシェアイベント



海洋ごみの投棄状況



木質バイオマス発電所

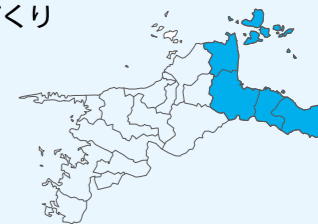
エリア（東・中・南予）構想

地域活性化に向け、特色ある地域資源や特性を生かした地域づくりを推進するため、各地域のコンセプトを提示し、それぞれの地域の振興に向けた施策を展開していきます。

東 予

ものづくり産業と魅力ある自然や歴史文化資源等を核として地域の発展を支える活力創造エリア

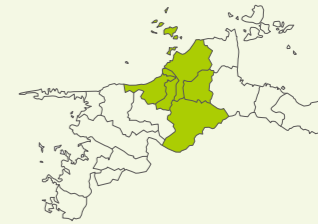
- 若年人材の県内企業への就職支援や働きやすい職場環境づくり、外国人材の受入体制の強化やDX人材の確保・育成など、ものづくり企業への人材確保支援
- 来島海峡大橋を核とした更なるサイクルツーリズムブランドの形成・発信による、瀬戸内しまなみ海道・ゆめしま海道の魅力向上
- 農家アドバイザーによる独自の新規就農者支援体制を構築し、移住者を農林水産業に誘導し、担い手として育成
- 高齢者等と共生するコミュニティカの充実及び人と動物に心地よいまちづくり
- 地震被害想定を踏まえ、海抜ゼロメートル地帯における早期浸水避難対策の検討、自助・共助への意識向上や正しい避難行動につながる情報発信、ハザードマップの作成支援、高齢者や外国人等の災害弱者を含め一人でも多くの命を守るための新技術を活用した防災・減災対策と長期浸水対策の推進 など



中 予

県内外から集まる人・モノ・情報を活用し他地域をけん引する多機能エリア

- 松山市全域及び周辺中山間地域における平成30年7月豪雨災害からの早期復旧と訓練・研修会の実施等による地域の防災力強化
- 学官民共創によるヒト・モノ・情報のネットワークづくりを促進し、やりがいのある仕事にチャレンジしたい若者や女性の活躍の場と支援環境を整備
- 周辺住民にとって豊かな住環境を実感できる歩行者・自転車専用道「重信川サイクリングロード」を活用した地域振興
- 農福連携による農業労働力の確保と障がい者の自立支援の推進
- 樹園地の基盤整備に連動したスマート農業の導入により、全国的なモデルとなり得る平地での果樹産地の育成
- 本県の空の玄関口となり、物流の拠点となる松山空港や松山港の機能強化 など



南 予

豊かな自然の恵みと穏やかで情緒あふれる癒やし空間が人を惹きつける交流促進エリア

- 伊方発電所に係る安全・防災対策を推進し、大分県などとの連携により住民避難を多様化
- 南海トラフ地震等に備えた夜間・早朝などを想定した実践的な避難訓練や事前復興計画の策定などの津波対策の促進
- 災害に強い園地への再編復旧と紅プリンス等の産地化による柑橘農業の復興
- 若年層の地元定着に向けた地元企業のPR力強化や人気企業の誘致・留置対策
- 全国有数の釣り環境や地域資源を生かした企業合宿型ワーケーションの受入体制整備と誘致・再訪促進
- 平成30年7月豪雨災害からの社会基盤・農林業生産基盤の災害復旧・復興への迅速な対応 など

